

船橋市 農委だより

FUNABASHISHI NOUIDAYORI

令和5年
(2023年)

1/1

第105号
年2回発行

発行 船橋市農業委員会
編集 農委だより編集委員会

〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号
TEL 047 (436) 2742~5
URL <http://www.city.funabashi.lg.jp> (船橋市役所)
e-mail nogyo@city.funabashi.lg.jp



県内酪農家で初めて農場 HACCP^{ハセツプ}を取得し、業務のマニュアル化や衛生管理、従業員能力の向上に取り組んでいる皆川香理さん。

近年は哺乳ロボットを導入するなど、機械化による省力化や経営の効率化に取り組み、さらには自家生乳を使用したチーズの販売も始めるなど、夢を一つ一つ実現している姿はとても輝いて見えました。

※農場HACCPとは適切な管理・飼育を行い、畜産農場における危機要因分析、必須管理点の考え方を取り入れた飼養衛生管理のこと。



年頭のごあいさつ



船橋市農業委員会

会長 岡庭 一美



新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より農業委員会活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大は、それまでの生活スタイルが一変し、働き方、暮らし方が大きく変わりました。農業分野におきましても、外食消費の減少等に伴う農産物価格の下落など、さまざまな影響が広がりましたが、今後はウィズコロナを見据えた対応が必要だと感じております。さらに、気候変動やロシアの軍事侵攻を受けた食料の安定供給確保など、農業を取り巻く課題も大きく変わっています。

このような中で、政府は食料安全保障の強化を図るとともに、1次産業の持続的な成長を促進する必要があるとして、農業政策の指針となる「食料・農業・農村基本法」の改正に向けて検討を進めております。

農業を取り巻く環境は日々刻々と変化しておりますが、農業委員会といたしましても、必須業務として位置付けられている「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止・解消」、「新規参入の促進」の3つを柱とした農地利用の最適化に向け、農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となって、農地の利用状況調査、遊休農地所有者への意向調査、働きかけなどを行って参ります。

今後も農業者の皆さまや市・関係機関と協力しながら積極的に委員会活動に取り組んで参りますので、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さまにとって、健康で実り多き良い年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで
新年のご挨拶を
申し上げます

農業委員・農地利用最適化推進委員一同

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--------------|------------|--------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 白井 廣司 (神保町) | 穴倉 由紀雄 (前原東) | 平野 恵昭 (西船) | 伊藤 栄一 (前貝塚町) | 齊藤 義夫 (金杉) | 伊藤 賢司 (二和東) | 岩佐 常信 (坪井町) | 渡邊 和雄 (車方町) | 飯島 行雄 (金堀町) | 藤平 尚志 (大神保町) | 木村 幸男 (神保町) | 武藤 英夫 (小室町) | 岡庭 一美 (三咲) | 金子 一雄 (前貝塚町) | 豊田 豊 (二和東) | 齋藤 教子 (坪井町) | 石井 俊郎 (東中山) | 藤城 孝義 (高根町) | 土橋 博之 (三山) | 高橋 光一 (旭町) | 石山 幸男 (馬込町) | 湯浅 清春 (八木が谷) | 神山 茂樹 (豊富町) | 織戸 孝 (飯山満町) | 菊池 眞夫 (本中山) | 小川 晃 (東船橋) | 農業委員 (議席順) |
|-------------|--------------|------------|--------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
- 農地利用最適化推進委員 (担当区域順)



搾乳牛を中心に約190頭を飼育している皆川牧場。皆川さんの注ぐ愛情が牛たちにも伝わっています。



酪農で「千葉県初のHACCP認証」を受けた皆川牧場の三代目 皆川 香理さん (鈴木町)

「皆川牧場」は鎌ヶ谷市内で、梨栽培と共に乳牛の飼育をしてきましたが、平成5年に地域環境の変化及び規模拡大を図るため、現在の船橋市鈴木町に土地を購入して移転しました。搾乳牛を中心に育成牛、肉用子牛を含めて現在、約190頭を飼育しています。

皆川香理さんは北海道の大学を卒業した後、世界の最先端酪農技術を修得するため、農業研修生としてデンマークに行きました。欧米では生き物にストレスをかけずに、生命を尊重しながら飼育する方法（アニマルウェルフェア）が主流となっており、皆川さんもこうした先進的な取り組みを導入して、いわゆる放し飼いを中心としたフリーストール・フリーバーン牛舎やミルクパーラーを県内で先駆けて導入したといえます。

近年では、個体管理の徹底や労働力の軽減につながる哺乳ロボットの導入など、経営の効率化にも積極的に取り組んでいます。さらに、家畜の生産段階における飼養衛生管理の向上に資する「農場HACCP」を酪農分野として県内初の認証を受けています。

皆川さんは「デンマークでの経験が自らの意識を大きく変え、酪農業のあり様についての方向を見出すことにつながった」と語っています。また、従業員のローテーションを効率的に行うなど、定期的な休みを確保することにより、いわゆる3K職場の脱却にもつとめています。

現在は技能実習生を含めて5人を雇用していますが、外国人もいることから、HACCP認証により管理等がマニュアル化されたことで事故防止や作業の効率化に役立っているそうです。

今後については、昨年8月から取組んでいるチーズ製造、販売に注力していく方針のようです。生産性はもとより付加価値の向上は農業全般の大きな課題です。良質で美味しい加工品を作り、販路を拡大することは将来に向けて欠かせません。



令和元年には「指導農業士」として認証され、視察受け入れや担い手の育成にも取り組んでいます。

「アイスクリームの製造、販売も視野に入れ、6次産業化を進めていきたい」と新たな夢を語っている姿はとて魅力的でした。

後継者については、皆川さんの体験を踏まえて、次男はアメリカのカリフォルニアで農業研修中とのこと。今年の帰国予定で、新たな経営技術が導入されるか、こちらも楽しみです。

牛舎の糞尿処理や記録的な円安による家畜飼料の高騰など、課題は山積しておりますが、酪農四代目の帰国を得て、更なる発展を遂げてくれることを期待しております。



令和4年度 船橋市農業モニターに13名が委嘱されました

令和4年11月7日に船橋市役所において「令和4年度船橋市農業モニター委嘱状伝達式」を開催しました。

当日は、農業モニターにお集まりいただき、本市農業委員会の岡庭会長より委嘱状が交付されました。その後、農業委員会の業務・活動等についての説明や農業モニターの事業説明、各々の自己紹介・意見交換などが行われました。今年度は農業モニターの任期である本年3月までに座談会などを行い、その中で出された意見・要望などを公正に聴取して、今後の農業委員会活動に反映させることにいたしました。



委嘱状伝達式の様子



女性農業委員の活躍

齋藤 教子さん (坪井町)

令和4年10月26日、東京都中野区で「全国オーガニック給食フォーラム」が開催されました。参加者は、東京都の会場に約1,000人、全国各地からオンラインでつながった参加者約3,000人、合計4,000人を超えると発表されました。会場に参加した約40市町村の首長に加え、複数のJA組合長も参加していました。

実行委員長を務めた千葉県いすみ市の太田洋市長は、開会あいさつで「オーガニック給食が進むことで、いくつもの希望が見えてきます」として「有機農業に踏み出した人を応援できる。子供たちは、食材や食材の裏側にある農家や田畑、田畑に暮らす生き物に関心を寄せるようになる。親たちも、子供たちの関心と同じように、食材や食材を生み出す人、大地に向かい、家庭での食に対する改善も期待され、今までスローガンで終わっていた地産地消にも本格的に取り組めるようになるでしょう。」と学校給食の可能性を指摘しました。

実践報告をおこなった、いすみ市農林課の鮫田さんは、学校給食が有機米で可能になった要因を「『市役所が旗振り役をしてくれたから』という安心感を農家の皆さんに持ってもらえたことも大きな要因だと思う。」と話されました。

この取り組みは有機米だけでなく、女性を中心に直売所に出荷していた有機野菜にまで広がり、宝島社が主催する「移住したいまち」の関東エリア部門で4年連続首位が続き、お米も「いすみっこ」という銘柄で販売が伸びているそうです。

豆知識

全国に誇る「千葉の園芸」全国順位

令和2年産統計版

公益社団法人 千葉県園芸協会



がんばろう! 千葉



チーバくん



農地に関する困りごと、相談等は **農地利用最適化推進委員にお任せ下さい!!**

「農地を相続したけど、耕作できない」「高齢で後継者がいないため、耕作が難しくなってきた」など、いろいろな事情により農地の管理に不安を生じてきたときは、地域の農地利用最適化推進委員（以下「推進委員」）までお気軽にご相談ください。

下記の通り、市内各地域には農地に関する相談ができる推進委員がいます。

農地を貸したいけれど借り手が見つからない、農業経営を拡大したいが、どこに相談したら良いか、など、お困りの時は各地区の推進委員までお気軽に相談ください。

なお、船橋市農業委員会事務局にて地区の推進委員をご紹介しますこともできます。



農地利用最適化推進委員 担当区域名簿

委員名	区 域
武藤 英夫	小野田町・小室町
木村 幸男 藤平 尚志	大神保町・高野台・咲が丘・神保町・みやぎ台・八木が谷・八木が谷町
飯島 行雄 渡邊 和雄	金堀町・楠が山町・車方町・鈴身町・豊富町
岩佐 常信	大穴北・大穴町・大穴南・古和釜町・坪井町・坪井西・坪井東・松が丘
伊藤 賢司 齊藤 義夫	金杉・金杉台・金杉町・夏見・夏見台・夏見町・二和西・二和東・馬込町 馬込西・丸山・三咲・三咲町・南三咲
伊藤 栄一 平野 恵昭	旭町・印内・印内町・海神・海神町・海神町西・海神町東・海神町南 葛飾町・上山町・北本町・行田・行田町・古作・古作町・栄町・潮見町 西浦・西船・東中山・日の出・藤原・二子町・本郷町・本町・前貝塚町 湊町・南海神・南本町・本中山・山手・山野町
穴倉 由紀雄 白井 廣司	東町・市場・米ヶ崎町・芝山・新高根・駿河台・高瀬町・高根台・高根町 滝台・滝台町・田喜野井・中野木・七林町・習志野・習志野台・西習志野 二宮・飯山満町・浜町・東船橋・前原西・前原東・緑台・三山・宮本 薬円台・薬園台町・若松

問い合わせ先／船橋市農業委員会事務局 TEL 047-436-2745

※問い合わせ内容をお聞きし、各地区担当の推進委員をご紹介します。

お知らせ

石神啓二農地利用最適化推進委員(古和釜町)は令和4年11月7日をもって辞任されました。在任中は大変お世話になりました。ありがとうございました。



遊休農地利用意向調査が行われます

遊休農地とは？

- 過去1年以上作物の栽培が行われておらず、維持管理（今後の耕作に向けて草刈り、耕起等、農地を常に耕作し得る状態に保つ行為）が適切に行われない農地。
- 低利用もしくは不作付け農地のうち、保全管理を行わず、かつ周囲の農地と比較した際に農業上の利用の程度が低い農地。

遊休農地利用意向調査とは？

- 年1回の農地調査をした際に、雑草や雑木が生えているなどしていた場合、行っている調査です。
調査目的は、
 - ① 遊休農地を今後どのように利用していくかの意向確認
 - ② 現地調査の結果が誤っていないかの確認
 上記2点があげられます。

調査対象及び実施時期

① 調査対象者：遊休農地を所有している方全て

令和3年度から農林水産省によって上記の調査に関する通知が改正され、以前に意向調査をしたことのある方にも毎年調査書を送付します

② 実施時期：令和5年1月中

調査書を郵送いたしますので、ご記入の上ご返信いただきますようお願いいたします。
未回答の場合、2月以降に地区担当の農地利用最適化推進委員が調査書を回収するため個別訪問する場合がありますので、ご協力をお願いします。

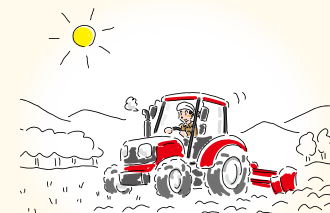
ご負担をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先 船橋市農業委員会事務局 TEL 047-436-2742

農業者の
みなさまへ

道路を走行する際は、トラクター等についた土や泥を落としてから走行しましょう！

道路上に落ちた土や泥に関する相談が寄せられています。
道路に落ちた泥や土のかたまりは、自動車だけでなく自転車・歩行者などの通行の妨げになり大変危険です。また、道路の環境美化の点でも大変気になるものです。やむを得ず道路を汚してしまった場合はご自身で速やかに清掃するなど、道路利用者が安全に利用できるよう心掛けてください。
交通安全や環境美化のためにも、農業者の皆さまのご協力をお願いいたします。





農業者の皆さん、 老後の備えは万全ですか？



農業者年金は老後生活をがっちりサポート

農業者年金のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金！
- 終身年金で80歳までの保証付き！
- 支払った保険料は全額社会保険料控除！
- 手厚い政策支援！保険料に国庫補助も

～農業者の方なら広くご加入いただけます～

一定の要件を満たす方に月額最高1万円、
通算すると最大で216万円

公的年金
ならではの
税制上の
優遇措置

保険料控除分の節税額(所得税・住民税)の目安

課税対象所得	税率	保 険 料	
		月額 2 万円 (年額24万円)の場合	月額 6 万 7 千円 (年額80万4千円)の場合
195万円以下	15.1%	3 万 6 千円	12 万 1 千円
195万円超 330万円以下	20.2%	4 万 8 千円	16 万 2 千円
330万円超 695万円以下	30.4%	7 万 3 千円	24 万 4 千円

※保険料支払分で控除される所得税 + 復興特別所得税 + 個人住民税の額の試算です。保険料支払い後も保険料支払い前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。

試算表(農業者年金の受給額の試算)

加入 年齢	納付 期間	性別	年金額(年額)	
			保険料額 1 万円	保険料額 2 万円
20歳	40年	男性	58万円	76万円
		女性	49万円	64万円
30歳	30年	男性	45万円	50万円
		女性	38万円	43万円
40歳	20年	男性	—	30万円
		女性	—	25万円
50歳	10年	男性	—	13万円
		女性	—	11万円

※上のケースは、通常加入で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.30%となった場合の試算です。
 ※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の19年間(令和2年度まで)の運用利回りの平均は、年率2.97%です。
 ※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和4年度は0.30%となっています。
 ※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。
 ※保険料額1万円のケースについては、35歳未満は保険料月額1万円で加入し、35歳以降は月額2万円で加入した場合です。

老後の備えは、
農業者年金で安心!

問い合わせ先 / 船橋市農業委員会事務局 TEL 047(436)2745

申請はお済みでしょうか？

船橋市物価高騰対策助成金

令和3年分所得税青色申告決算書等における肥料費・諸材料費が助成対象となります。

助成内容

肥料費 …… 令和3年肥料費実績に対して **35%** を支援

諸材料費 …… 令和3年諸材料費実績に対して **30%** を支援

※千円未満切り捨て・各上限 200 万円



受付期間延長しました

令和5年
2月10日まで受付可

問い合わせ先

船橋市農水産課 TEL 047(436)2494



小松菜ペースト入り おやつパン

藤田 富美江さん(印内)考案

第55回
船橋市農水産祭農産品評会
船橋市長賞受賞



材料 (パン3種類8個分)

- 強力粉 300g
- 卵 52g
- ドライイースト 6g
- 砂糖 大さじ2
- 塩 6g
- バター(無塩) 30g
- 小松菜ペースト 50g
- めるま湯 90cc
- プロセスチーズ(5mm角に切っておく) 40g
- チョコチップ 大さじ3
- つぶジャム(ジャムの種類はお好みで) 小さじ4
- グラニュー糖 小さじ2

作り方

★パン生地

- ① ボールに★の材料をすべて入れ、最後に入れるドライイースト目がけて、めるま湯を加え、木べら等で混ぜ合わせます。材料がなじんだら台の上に乗せます。
- ② 滑らかになるまで3分から5分こねた後、台の上で丸く形を整えます。とじ目を下にしてボールの中に入れ、ラップをかけ、オーブンレンジ等で40℃で25分間、発酵させます。(一次発酵) その後、こぶしで3か所、軽く押し当て、ガス抜きをします。
- ③ 生地を2等分にします。(A: 1/2がチーズパン3個分・チョコ3個分、B: 1/2はつぶジャムロール2個分の生地となります。)
- ④ Aの生地は6等分、Bの生地は2等分に分け、これらを折り曲げるようにし、おしりを閉じて、ぬれ布巾をかけ、10分間そのままにしておきます。

A: チーズパン・チョコパン (それぞれ3個分)

- ① 6等分したAの生地をそれぞれ直径10cmくらいに丸く伸ばし、チーズとチョコチップをそれぞれ生地に

- 入れ、くるむように丸め、ラップをします。ぬれ布巾をかぶせて40℃で20分間発酵させます。(2次発酵)
- ② オーブンで焼く前に生地に卵を塗り、中央に切り込みを入れます。
- ③ 190℃で14~17分間焼きます。

B: つぶジャムロール

- ① 2等分した生地は、とじ目を上にして15cm×15cmにのばします。
- ② つぶジャム・グラニュー糖を周囲1cmくらい空けてまぶします。手前からロールして巻き、終わりを閉じて6等分に分けます。
- ③ 切った断面を上にして鉄板に置き、巻き終わりを中央に入れ、6等分のロールを写真のように1つにします。
- ④ ラップ・ぬれ布巾で覆い、40℃で20分間発酵させます。(2次発酵)
- ⑤ 卵を塗り190℃で14~17分間焼きます。
※小松菜ペーストは柔らかい葉だけを茹でて裏ごしして作りました。

編集後記

市内の酪農家は宅地化の進展など、周辺環境の変化に伴い減少を続け、現在は8軒(令和4年11月現在)になっています。酪農経営を続ける上で周辺住民との共生は不可欠です。

酪農業は、新鮮で美味しい牛乳の生産やチーズなどの加工品の供給だけでなく、優良な堆肥の生産など、農業全般においても大きく貢献していることは言うまでもありません。

臭いや音といったマイナス要因が強調され、肩身の狭い思いをしている酪農家も少なくありません。近年は、様々な工夫を施しており、臭いや音についても大きく軽減されています。また、都市部における酪農業が見直されており、新たな視点での見方が出ています。将来を担う子供たちに、家畜とのふれあいの場を設ける(教育ファーム)など、地道な努力を続けながら、市民の理解を求めることがポイントの1つになりそうです。